

森松グループ 社員のご紹介



こじま たかひろ

小嶋 孝弘 (51)

部署：東京オフィス

趣味：サッカー・ゴルフ

自己紹介

初めまして。2月16日から東京オフィスの営業に配属となりました小嶋です。

プラスチック業界での経験を活かしながら新しい事に挑戦していきたいと思っております。新しい環境でも積極的に学び、

少しでも力になれるように頑張ります！！

目指すところ

森 直樹 (社長)



GWもあっという間に終わり、真夏日が度々発生するなど、夏の気配も近づいております。また、今年も開催される第34回森松展は、昨年を引き続き10月開催となりました。少しでも過ごしやすい時期にご来場いただければ幸いです。つい先日、社外の方との会話の中で、「森松さんの経営課題は何ですか？」という問いがありました。私は、ルール化や仕組み化がまだ不足していることだと答えました。現在、森松株式会社は69期目を迎え、20代から70代まで幅広い世代の方々が勤務しております。今から30年前であれば、当時は先代の社長が50代、部長層が30代、そして20代の社員も多数勤務していました。つまり、時間の経過とともに世代の幅が広がり、それだけ多種多様な考え方が生まれるのは当然のことだと思います。(過去には外国籍の方も多数勤務されてきました。)しかし、森松という組織に属していることは皆共通であり、仕事に対する考え方や、顧客・仕入先への対応が、人によって大きく異なっているのは、社内外ともに混乱を招いてしまいます。そこで、それら森松の考え方の土台となるものとして、昨年新たにミッション・ビジョン・バリュー (MVV) という形で、私たちの目指す方向をまとめました。まだまだ浸透させるための発信は不足していますが、何か判断が必要な際には自然とこのMVVを思い浮かべ、また、このMVVに基づいた仕組みやルールを整備することで、「森松の共通認識」を増やしていければと思っています。目指す方向が同じでなければ、個人の力がどれだけあっても、その力は分散してしまいます。より強固な組織を作り、個々の力だけでは成し得ない大きな成果を目指していきます。また同時に、個々の能力を最大限に発揮できる基盤にもしていきたいと思っています。

VR 体験

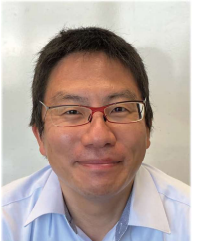
大和田 タ美（営業部）



Horizon of Khufu（名古屋）へ行ってきました。栄のスカイル 10F で開催されており、料金は土日祝が 5,000 円、平日が 4,000 円です。少し高めではありましたが、期間限定ですし、タイミングが合わないと行く機会もないと思い、体験してみたくて行ってきました。チケットは前日購入が可能で、入場は 30 分間隔。定員を限定して予約を受けているようですが、空き状況を見ると希望の時間を予約することができました。予約状況では空きが多かったため、人気がないのかと思い、一度は行くのをやめようかとも考えましたが、面白そうだったので行ってみることにしました。予約時間の 15 分前に到着すると、思っていたより受付に並んでいる人が多くてびっくり。当日予約も可能なようで、観光客の方や家族連れでにぎわっていました。私は事前にチケットを購入していたので、QR コードを提示し、簡単な事前説明を受けて入場。手荷物は持ち込めず、ロッカーへ預けることになっていました。入場前に VR の説明を受け、VR ゴーグルを装着します。同行者は紫色の半透明なアバターとして表示され、頭上に事前登録したニックネームが表示されるため、誰が同行者なのか分かるようになっています。それ以外の入場者は白いアバターで表示され、周囲に人がいることが分かる程度で、体型や年齢、性別までは分かりません。接触するのではないかと心配でしたが、実際にはぶつかることはありませんでした。障害物や他の人に近づくと赤い表示が出るため、その表示に注意しながら、ゆっくり進みます。実際には平らな床なのですが、ゴーグル越しには石畳の上を歩いているように見えます。足元を見るとボコボコした石の上に立っているように感じ、「早まったかも……」と思いました。私は三半規管が弱く、ジェットコースターのような乗り物も苦手なので、大丈夫なのかと不安になり、かなり慎重に歩いていました。ですが、実際には普通の床なので、慣れてくると問題なく歩けました。きっとスタッフから見ると、かなり腰が引けた歩き方で面白い光景だったと思います。VR に慣れていない人や苦手な人は、VR 酔いする可能性もあるようで、「気分が悪くなった方は手を挙げてください」と案内がありましたが、私はなんとか無事に最後まで体験できました。エジプトのピラミッドへ実際に行くのはなかなか難しいですが、その雰囲気味わうことができ、とても良い体験になりました。

モニターを更新

鶴見 雅人（森松産業）



先日、自宅で使用している複数枚のモニターのうち、1 台を新しく更新することにしました。更新したモニターは、作業用・ゲーム用の両方を兼ねており、今後さまざまな作業を行うことも考慮して、4K モニターにすることにしました。早速ネットで希望するスペックの物を探していったものの、なかなか条件に合うモニターが見つからず、一つずつ妥協しながらようやく購入しました。モニターが到着しても、なかなか更新作業ができず、1 か月ほど箱に入ったままにしてしまいました。ようやく開封し、諸々の調整を実施。PC で使用する場合、作業スペースが HD の 4 倍になるという利点があるものの、文字や Web ページなど、いろいろなものが小さく表示されます。そのため、デフォルトで倍率調整がされていますが、私自身は作業スペースを広げることを重視しているため、倍率は等倍に変更しました。しかし、とにかく文字が見えにくく、等倍のままにするか、少し倍率を上げるか悩んでいます。ゲームについては、もともと使用しているハードが 4K 対応だったため映像は鮮やかになりましたが、その分まぶしく感じ、少し目が疲れます。こればかりは慣れなのでしょう。将来的には、仕事で使用するモニターも 4K 化することを考えてしまいますが、本当に必要なのかという点は悩みどころです。モニターも用途によって種類やスペックをしっかり考えて購入しなければいけないな、と感じました。また、光沢・非光沢の選択も、用途によって慎重に選ぶべきだと感じています。



横浜へ

小俣 蓮（製造部）



先日、友達と一緒に横浜へ行きました。横浜自体、行くのが久しぶりで、おしゃれな街というイメージがあり、行く前からとても楽しみにしていました。実際に訪れてみると、想像していた以上に景色が美しく、楽しい場所がたくさんありました。まず最初に、横浜中華街へ行きました。中華街には色鮮やかな門や建物が並び、多くの観光客でにぎわっていました。まず目にとまったのは、叉焼メロンパンです。話題には聞いていましたが、たくさんの方が並んでいました。興味本位で食べてみましたが、とても美味しかったです。次に、横浜赤レンガ倉庫へ行きました。赤レンガの建物は歴史を感じさせる雰囲気、とても印象的でした。中にはおしゃれな雑貨屋やカフェがあり、ゆっくりと買い物を楽しむことができました。特に印象に残ったのは、時間をテーマにしたお酒を販売しているお店です。パッケージのデザイン性も高く、飲みやすい日本酒を購入しました。海の

近くを歩くと気持ちの良い風が吹いていて、横浜らしい景色を満喫することができました。夕方には、みなとみらい周辺を散策しました。観覧車や高いビルがライトアップされ、夜景がとてもきれいでした。海に映る光も美しく、写真を撮たくさん撮りました。特に観覧車から見た夜景は忘れられない思い出です。今回の横浜旅行では、美味しい食べ物やきれいな景色、楽しい買い物など、たくさんの思い出を作ることができました。美味しい物や流行のもの、イベントなど、季節によってさまざまな楽しみ方ができる街なので、またぜひ別の季節にも行きたいと思える場所でした。

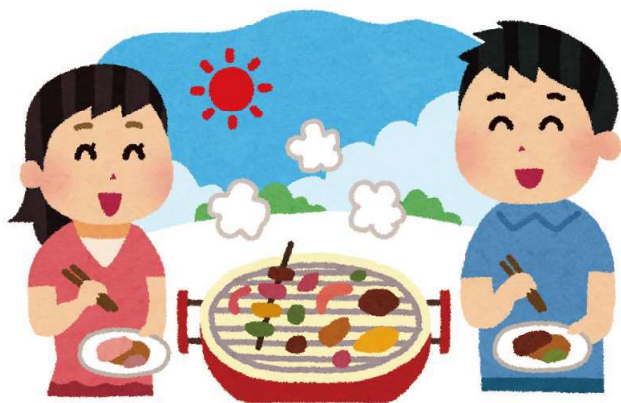


バーベキュー

寺本 祐輝（製造部）



ゴールデンウィークの休日、家族と親戚でバーベキュー場へ行った。連休中ということもあり、施設の中はたくさんの方でにぎわっていた。小さな子どもを連れた家族や、大人数で集まっているグループも多く、あちこちから肉の焼けるいい匂いがしてくる。私は焚き火でご飯を炊く担当になった。飯ごうを使うのは久しぶりだったので少し不安はあったが、「なんとかなるだろう」と軽く考えていた。しかし実際にやってみると、火加減が思った以上に難しい。火が弱いと思って薪を足したり、逆に強すぎる気がして減らしたりしているうちに、だんだん火加減が分からなくなってしまった。しばらくして飯ごうを開けると、一応炊けてはいたものの、芯が残っている部分が多かった。「ちょっと固いね」と笑われ、自分でも失敗だとすぐ分かった。普段は炊飯器に任せきりなので、火でご飯を炊く難しさを改めて感じた。肉を焼いたり、野菜を食べたりしながら親戚同士で話をしていたが、バーベキュー場はチェックアウトの時間が意外と早い。片付けの時間を考えると、ゆっくり話している余裕はあまりなかった。食べ終わるとすぐに網を洗い、テーブルを片付け、荷物をまとめる。気づけば「もう帰る時間か」という感じだった。もっとゆっくり話したかった気持ちもあるが、久しぶりに親戚みんなが集まただけでも良かったと思う。ご飯は失敗してしまっただが、それも含めて思い出に残るバーベキューになった。



2026年上半期何があった？〜ニュースで振り返る2026〜

1月

衆議院解散・総選挙へ

高市首相が衆議院を解散。2026年最初の大きな政治ニュースとして注目を集めました。箱根駅伝で青山学院大学が3連覇

恒例の箱根駅伝では、青山学院大学が史上初となる【2度目の3連覇】を達成しました。

2月

衆議院選挙の結果に注目集まる

衆議院選挙の投開票が行われ、新たな政権の動きに大きな関心が集まりました。

全国的な寒波・大雪

各地で交通機関への影響や積雪被害が発生し、厳しい寒さが続きました。

3月

WBCで日本代表に注目集まる

野球の世界大会「WBC」が開催され、日本代表の戦いに大きな注目が集まりました。

エネルギー価格高騰でガソリン価格上昇

中東情勢の影響などから原油価格が上昇。ガソリン価格の高騰も話題となりました。

4月

物価上昇への関心続く

食品や日用品の値上げが続き、家計への影響が引き続き話題となりました。

大阪・関西万博の経済効果が話題に

2025年に開催された大阪・関西万博。

閉幕後も観光や地域活性化への影響が注目されています。

5月

大型連休でインバウンド需要増加

海外からの観光客も多く、日本各地の観光地がにぎわいました。

生成AIサービス競争が加速

企業によるAI活用がさらに広がり、仕事や生活への影響が話題となっています。

2026年も気づけば折り返し目前。

皆さんは、どんな出来事が印象に残っていますか？

横浜観光

村上 貴司（製造部）



先日、横浜へ観光に行ってきました。横浜観光では、まず横浜中華街を訪れました。色鮮やかな門をくぐると、一気に異国情緒あふれる世界が広がり、歩いているだけでも気分が高まります。通りには中華料理店や雑貨店がぎっしりと並び、特に小籠包や肉まん、焼き小籠包などの食べ歩きグルメが豊富で、いろいろな味を少しずつ楽しめるのが魅力でした。店先から漂う香ばしい香りや、活気ある呼び込みの声も印象的で、にぎやかな雰囲気そのものが観光の楽しさを引き立ててくれます。また、歴史を感じる建物や寺院も点在しており、グルメだけでなく文化にも触れられる点がとても魅力的でした。歩きながら新しい発見が次々とあり、何度でも訪れたくなる場所だと感じました。その後、新横浜ラーメン博物館へ向かいました。館内は昭和レトロな街並みが再現されており、まるで昔の日本にタイムスリップしたかのような懐かしい雰囲気に包まれます。

全国各地の有名ラーメン店が集結していて、醤油や味噌、とんこつなど、地域ごとの個性豊かな味を一度に楽しめるのが大きな魅力です。ミニサイズのラーメンも用意されているため、複数の店舗を食べ比べできるのも嬉しいポイントでした。さらに、ラーメンの歴史や文化について学べる展示もあり、食べるだけでなく知識も深められる充実した施設でした。中華街のにぎやかで異国情緒あふれる雰囲気と、ラーメン博物館のどこか懐かしく落ち着いた空間は対照的で、それぞれ異なる魅力を持っていました。どちらも強く印象に残り、グルメを中心に横浜の魅力を存分に味わえた観光になりました。

